

令和3年度 第2回四日市市立図書館協議会会議要録

1. 日 時 令和4年1月6日(木) 午前10時30分～正午
2. 場 所 四日市市立図書館 3階 会議室
3. 出席者 松井真理子会長、岡田博子委員、竹内裕子委員、竹下すま子委員
前田 匠委員、中井孝幸委員、藤田一樹委員
(会長、副会長以降、五十音順)
図書館：高嶋純子館長、村林知可子副館長兼管理係長、
4. 欠席者 福永智子副会長、渡部通廣委員
5. 傍聴者 1人
6. 議事録概要
 1. はじめに
 2. 議題
 - (1) 令和3年度図書館事業報告等(令和3年4月～令和3年12月)について
 - (2) 令和3年度図書館事業予定等(令和4年1月以降)について
 - (3) 新型コロナウイルス感染症防止対策の対応について
 - (4) 寄附について
 - (5) その他
 3. おわりに

1. はじめに

【館長挨拶】

図書館協議会条例第5条により、松井会長が議長となり、議事を進める。

【出席者確認・会議成立確認】定数9名、出席7名。

【傍聴者確認】1名。

【非公開範囲の決定】適宜、諮るものとされた。

2. 議題

- (1) 令和3年度図書館事業報告等(令和3年4月～令和3年12月)について
(事務局資料1説明)

委員：館外へいろいろと派遣に行ってもらっているようだが、高校への講師派遣はどういった内容なのか教えてほしい。

図書館：朝明高校、古川学園向陽台高校の保育や介護を学ぶ生活コースの生徒に向けて、読み聞かせの講座に講師として、また四日市農芸高校についても同様に生活文化コースで保育士をめざす生徒たちに紙芝居や絵本の読みきかせなどについての指導をするため講師として行っている。

委員：10月に下野小学校に自動車文庫に来てもらった。子どもたちが自動車文庫で本を借りるのを非常に楽しみにしている。新しいものや魅力的なものがあれば持ってきていただいてどんどん借りて利用してもらえるようにしてほしい。

委員：普段の利用状況、貸出者数や貸出冊数について、コロナ禍前と比較して現状はどうか。統計的な数字でなく、感覚的なものでいいので教えてほしい。

図書館：貸出とか返却の数からはほぼ以前に近いものであると思われる。8月末から9月の休館あけの際も来館者の方は多かった。平日、1日約3千冊ほどの貸出はあるが、昨日も年始あけの開館においても利用者は多く、土日以上であった。

委員：閲覧席などの座席数はまだ間引いたままの状況か。

図書館：のちの議題で説明させていただきたい。

(2) 令和3年度図書館事業予定等(令和4年1月以降)について

(事務局資料2説明)

委員：コロナ禍における行事の中止は市としての方針によるものか。

図書館：まん延防止が発令した際にはイベントは中止としていた。

委員：北勢地域高校生ビブリオバトル四日市決戦についての展示について、年末にこちらからの急遽の依頼にかかわらず対応してもらった。

コロナの関係で昨年同様リモートでの開催となり、放課後に2回に分けてやらせていただいた。傍聴も出来ずバトラーだけであることになったが参加者たちには非常に好評であった。広く知っていただきたいと小中高生が利用する図書館に展示をお願いした。

中高生に向けて学校図書館としてもいろいろ企画するが、見えない部分もあるので市立図書館と連携をしてお互いの情報交換も出来ればと思っている。

図書館：よろしくお願ひしたい。

委員：1月と2月に開催予定の読書バリアフリー体験講座についての内容を教えてください。

図書館：写真とか絵を障害者の方にどのように説明するか、また対面読書について基礎的な部分を体験してみるといった内容となっている。

委員：視覚障害の方に焦点を当ててという事か。

図書館：そうである。

会長：受講される対象者はどういった方か。

図書館：11月に開催した点訳、音訳基礎講座を受講した方に案内を行なった。また、点訳・音訳の図書館協力者の方にも声掛けを行なっている。

(3) 新型コロナウイルス感染症防止対策の対応について

(事務局資料3説明)

委員：予約本の受取については、29日から開始してもらっていたが、それまでについては一切借りられない状況になっていたのはどうしてか。

図書館：市としては、とにかく人流を止めることを方針としていたので致し方なく休館とさせてもらった。

委員：本を借りることが出来ず困っていた。何か他に対応してもらうことは出来なかったのか。

図書館：今回の休館については、四日市の感染者がかなり多かったこともあり、休館をせざるを得なかった。

委員：休館の措置については全市的なものか。

図書館：全市的なものである。

委員：図書館は会話を発しないので、何か対応しても良いのかとも思うが、なかなか難しいところだ。市の方のトップダウンで決定することで、愛知県内の各市の図書館についてもほぼ休館の対応をとっていた。休館は仕方ないことではあるが、巣ごもりの状態で、本を読んでもらう良い機会であるにもかかわらず、休館となったのは残念なことである。

会長：何か良いアイデアはないのか。

委員：電子書籍があると、インターネットで借りることが出来るので、それをサービスとして提供していた図書館は多かったと思われる。

この時こそ、若い人たちに本を読んでもらうといい機会だったのと思う。

委員：学校の図書館でも、予約やリクエストを生徒からネットで受けて、郵送しているところも数校ではあるがあった。予約を受けて取り置きをすとか、次回の登校日に渡せるよう連絡を行うことは、7割程度の学校で2年目との事もあって出来ていたようである。生徒各自のスマホでシステムに繋いで予約を行っていたようだ。市の図書館に行きたくても行けないとの声もあったので、市として何かできると良かったのではないかと思う。

(4) 寄附について

(事務局資料4説明)

委員：こういった寄附は何年かに一度あるのか、それとも初めてか。

図書館：初めてである。

委員：どうして寄附されたのか。

図書館：相談役の方が4月に亡くなられその方の遺志として図書館へ寄附していただいた。

会長：生川建設以外で寄附を受けたことはあるのか。

図書館：これほどの額を受けたことはないが、ライオンズクラブやロータリークラブから寄附していただくことはある。

会長：基本的に本を買ってくれという指示はあるのか。

図書館：図書館ということで、図書を購入していただければとの考えのようだ。

会長：自由に使うということではないのか。

委員：1千万円となるとかなり本を購入することが出来ると思う。日々の本を購入していくのもいいとは思いますが、何かきちんとしたコーナーを作るなど、使い方を考えた方が良くはないか。ラベルや展示もいいが、折角、貴重な寄附なのでこの機会に何か残る特別な事をするのはどうか。例えば、電子書籍を導入するとか検討されたほうがいいのではないか。

図書館：また、ご相談に乗っていただきたい。

会長：他の企業にも図書館に寄附してもらう方法があることを周知していてもいいのではないか。

委員：細かい話ではあるが、雑誌の購入について企業にスポンサーになってもらって雑誌のカバーの後ろに企業名を入れたりしている図書館もある。上手にそういった企業を使って、財源を取り入れていくのもいいのではないか。寄附の募集を、多くの市民の方が読まれている市の広報とかを利用していくのもいいのではないか。

(5) その他

新図書館について7月以降に新聞に掲載された記事について説明

委員：12月に開催された市長と話す会に出席した。その際、新図書館の件についても話は少しあり、確定ではないが、近鉄との交渉は進んでいることを聞いた。こちらから質問する時間はなかったので、個人的に準備しておいた要望書、バスターミナル建設に伴い、図書館や博物館などの公共施設を循環するバスを市として運行することなどを記載したものを手渡した。協議会でもいろいろと新図書館について話し合ってきたことについても話したかったが出来なかった。今回の新図書館の建設は以前の計画したものを基本にして進んでいるのか。

図書館：あくまでも、以前策定をした基本計画に基づいて交渉は進んでいる。

委員：協議会の委員の方が関わって決めたことや市民にアンケートを行った結果等も基本的としつつ進めてもらっているのか。

図書館：そのように進めている。

会長：今年度の当初予算で基本計画策定に4千5百万円計上とあるが、未だに使われていないのか。まだ計画が固まっていないので、手つかずのままなのか。

図書館：策定中であり、予算は執行されている。今までの計画を基に、基本計画策定を進めている。しかしながら、近鉄との合意までには至っていない。

委員：市役所東側の建設案の面積は他の施設を込みであるが約1万㎡と聞いていたが、面積としてはかなり大きく階層が7階程度であったと記憶している。図書館専用面積については、6から7千㎡くらいだったと思うが、今回スターアイランド跡地の複合施設に入る場合、当初の予定されていた面積については確保されているのか。

図書館：その計画を基に交渉を行っている。一層だけでは無理なので何層かにわ

けてとはなる。市役所東側の計画をそのままというわけにはいかないが、図書館部分としての広さなどは、計画を基に交渉をしている。

委員：以前の計画策定の際には図書館協議会から3名参加して、図書館としてどうしたらいいものになるかの意見を出させてもらった。場所などいろいろ変わったとしても『良い図書館にする』という目標は変えないでほしい旨、図書館協議会の意見としていってもらいたい。何が大事かという点、豊富な蔵書、運営状況については職員が働きやすい直営にすること、あと駐車場の確保については大事な事だと思うので、図書館協議会として意見を言ってもらいたい。

4年間たって、いつ立つのかといった要望の声もよく聞くことも伝えていってもらいたい。2017年には前の館長が図書館協議会の意見をまとめたものを提出してもらっているが、その内容は場所が変わってきているので、また協議会での意見をまとめる機会を作ってもらいたい。折角、協議会で集まっているので良い図書館にするため、協力して声を上げていくことは大事だと思う。

会長：建物のメインとなるのは図書館なので、図書館をより良いものにしていくことが必要ではないかと思う。是非ともこちらからの意見を伝えてもらいたい。

委員：バスターミナルを新設するなかで、まちづくりの一環として図書館の建設もあると思うが、街をどうしていくかといった情報は聞こえてくるものの図書館をどうするのかといった事については全く聞こえてこない。前回の計画のなかにあるカフェをいれて人の居場所を作るとか、交流の場所を作るとはもちろん必要ではあるが、今までの利用者も重要な部分であり、中高生等の若者も自習室だけではなくそれ以外にも利用できるような色々な要望を踏まえてほしい。読書をそれほどしない生徒たちでも駅近くに出来ることに期待しており、卒業してからも駅前であれば立ち寄ることを心待ちにしている。計画途中である今がとても重要な時期で、図書館側としてどのようなものが欲しいのか、ここだけは絶対にといったものを協議会の声として文書などにまとめてもらうなどして色々な声を届けていくように出来ればよいと思う。勝手に建った、後でこんなのがあったのかでは予算的にも勿体ないと思う。あと、図書館司書の募集について、これは新図書館に向けての募集なのか。

図書館：新図書館に向けてのものではない。

委員：図書館が新しくなる際には、特に人の問題、司書は以前から会計年度職員の雇用形態となっているが、図書館を長期的に成長されるためには、長くきっちり勤められる人が必要であると思う。正規職員として司書を四日市が採用するようなシステムを作ってもらおうと、大変、先進的になるのではないかと思っている。図書館を新しくするのであれば、そういったことも考えてほしい。

会長：図書館が諮問機関として、意見をまとめてほしい。

3. おわりに

(事務局) 第3回協議会を3月頃に開催させていただきたく、事前に各委員の予定をお聞きしたい。